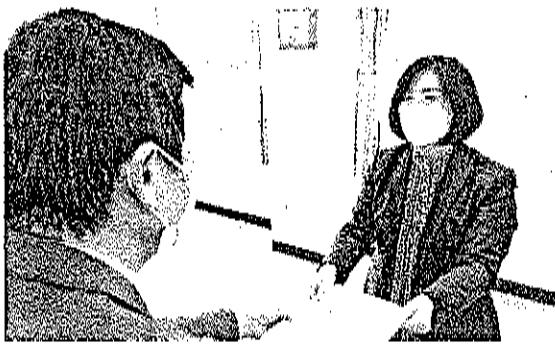


2/18  
元復

# 米軍機またタンク投棄

## 青森・三沢共産党地区委が抗議



抗議文を手渡す奥本市議(右)

17日 青森県三沢市

青森県の米軍三沢基地所屬のF-16戦闘機が15日に、太平洋沖に燃料タンクを投棄していました。これが明らかになりました。この問題を受け、日本共産党中央十三地区委員会と三沢市委員会は17日、米軍司令官あてに同機の撤退を求める抗議文を三沢市にある東北防衛局三沢防衛事務所に提出しました。

時20分ごろ、訓練中の機体が緊急事態に陥り、青森県「F-16戦闘機の飛行自体が沖に燃料タンク2個を投棄。東北防衛局を通じて県に連絡があったのは16日夕方でした。

同基地所屬のF-16をめぐる原因と対応策を明らかに

つては、2021年11月するにF-16の飛行停止、三沢基地からの撤退を求めました。文書を受け取った三沢事務所の担当者は「米軍からの新しい情報はない」と答えました。

投棄(18年2月)や、六ヶ

所村の小中学校近くの田有地に模擬弾落下(19年11月)と危険な事故が繰り

返されています。

三沢事務所を訪れた市川俊光地区委員長・東北町議

と、奥本菜保田三沢市議は、「F-16戦闘機の飛行自体が住民の命と暮らしを脅かすものであり、安心して生活を送ることは困難」と感じた。抗議しました。

原因と対応策を明らかに

つては、2021年11月するにF-16の飛行停止、三沢基地からの撤退を求めました。文書を受け取った三沢事務所の担当者は「米軍からの新しい情報はない」と答えました。

県によると、15日午後4

(東北町)への燃料タンク

もシジマ漁中の小川原湖